

特集

エネルギーの地産地消は根付くか 相次ぐ地域新電力、連携に活路

10

2	三神万里子の直言
4	ニュース & インサイド
7	霞が関 底流伏流 (文部科学省) 公立学校は「ブラック企業」 残業減へ法見直しも課題に
8	藤原和博の教育談議 減らさずに増やしてはいけない～リストラの話
28	グローバルインタビュー 川崎市市長 福田 紀彦氏
31	地域を変えるビッグデータ・IoT活用法 市嶋 洋平氏 地方でもAI人材確保競争
32	レポート ICT活用で変わる通信教育
34	レポート 大学調査から④ 留学生、海外教員とも増加傾向
38	レポート テクスケム・小西史彦会長に聞く
40	寄稿 西川 一誠氏 地方と都市の賃金格差、早期是正を
42	キーパーソン 農林水産省就農・女性課長 佐藤 一絵氏
44	新・奮闘地方議員 大阪府枚方市議会議員 木村 亮太氏
46	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 産業振興策として捉えるふるさと納税
48	地域を磨き産業振興 小出 宗昭氏 成功のカギは職員の当事者意識

50	未来へつなぐ 子育て支援の現場から 小石 勝朗氏 ユニファ・保育所にICT導入
52	変わる介護保険 自治体の課題 浅川 澄一氏 訪問介護、試練の時代へ
54	議長に聞く 福島県議会議長 吉田 栄光氏
55	ニュース・ウォッチング
60	Book Review/バックステージ

お断り 「大学、地域を拓く」は休みました



〈表紙の写真〉癒やしの水車の発電所が街を潤す (山梨県都留市)

山梨県都留市の街の中を流れる家中川。小水力発電「元気くん2号」が3.5mの落差を利用して水車を回し、発電した電力を市内の公共施設などに供給している。市役所では直

径6mの木製水車「元気くん1号」(写真上)が来庁者を癒やす。

市では明治期、この川を利用して市民発電所がつけられた歴史がある。2004年から「水のまち」のシンボル

として3基の水力発電を整備。エネルギーの地産地消と環境教育のモデルとして、これまで全国から1万人以上の方が視察に訪れている。(文=杉野 耕一、写真=都留市提供)